

科目名	教育原理、教育課程概論						
Course Name	Principles of Education and Introduction to Curriculum						
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	松崎勇人						
連絡先(質問等)	本館2階研究室(湯沸かし室前)、火曜を除く昼休みや空き時間						
必修/選択	栄養教職必修						
関連 DP	DP2						
授業の概要と到達目標	<p>教育の意味と目標、教育を成り立たせる要素と相互関係、教育の歴史と思想や教育課程について、分かりやすく説明する。</p> <p>①教育の意味と目標、教育を成り立たせる要素と相互関係について述べるができる。</p> <p>②教育の歴史と思想、現代公教育制度の課題について述べるができる。</p> <p>③学習指導要領を基準として編成される教育課程の意義や編成の方法について述べるができる。</p> <p>④カリキュラム・マネジメントを行う意味を述べるができる。</p>						
授業の方法	<p>黒板を使っての説明を中心とした講義を行う。なるべく著作の現物や思想家の写真等を見せながら、イメージをわきやすくするようにする。また、4人から5人の小集団を作り、教育に関するテーマについて討論して発表することを行う。講義者が、それらの学生の見解を尊重しながら、幅広い観点からそれを補い、深める。</p>						
学習成果	L01						
	L02	<p>(1) 教育の意味や子どもの見方を説明することができる。</p> <p>(2) 教育の歴史や教育することに関する対照的な、異なった考え方の長所と短所を述べるができる。</p> <p>(3) 教育を左右する社会的要因、教育経営の基本的考え方、日本の教育の目的と教育制度の骨格を説明することができる。</p> <p>(4) 教育課程に関する基本を述べるができる。</p>					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	課題は講義中に返却する。						
教科書/参考図書	「よくわかる教育課程 第2版」田中耕治編、ミネルツヴァ書房						
履修上の留意点やルール等	休まないこと。真剣な態度で講義に臨むこと。私語をしない。積極的に質問すること。免許取得科目のため教育に対する強い興味や関心がある者のみ受講を許可したい。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。栄養フィールド教職履修者のみ受講可。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	事前事後学習をしてから真剣に講義に臨んでいる。		20		
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	基本的事項について述べられるか筆記試験で確認する。		80		
その他					
合計			100		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、教育の意味、教育を成り立たせる要素と相互関係
	事前・事後学習	それらの意味や関係をまとめ表現する。
2	授業内容	教育の目的と目標の考え方、民主的な教育目標
	事前・事後学習	目標を表現する。
3	授業内容	日本教育史、古代から中世
	事前・事後学習	歴史の要点を整理する。
4	授業内容	日本教育史、近世から近代。現代の教育課題
	事前・事後学習	歴史の要点を整理する。
5	授業内容	西洋教育史、ギリシャからローマ
	事前・事後学習	歴史の要点を整理する。
6	授業内容	西洋教育史、近代
	事前・事後学習	歴史の要点を整理する。
7	授業内容	教育思想の基本（家庭や子ども観）
	事前・事後学習	考えの要点を整理する。
8	授業内容	教育思想の基本（学校や学習観）
	事前・事後学習	考えの要点を整理する。
9	授業内容	教育課程の意味、学習指導要領の性格と位置づけ、そこに示される教育課程編成の目的
	事前・事後学習	基本的考えを整理する。
10	授業内容	学習指導要領の変遷（戦後から高度経済成長期）
	事前・事後学習	学習指導要領の歴史の要点を整理する。
11	授業内容	学習指導要領の変遷（ゆとり教育とその後）
	事前・事後学習	学習指導要領の歴史の要点を整理する。
12	授業内容	教育課程編成の基本原則
	事前・事後学習	考え方の要点を整理する。
13	授業内容	長期的視野からの、また実態を踏まえた教育課程の検討
	事前・事後学習	教育課程の実際の運用について考える。
14	授業内容	教科横断的内容編成方法の例示、学習指導要領におけるカリキュラム・マネジメントの意味)
	事前・事後学習	カリキュラム・マネジメントについて考える。
15	授業内容	カリキュラム評価の考え方
	事前・事後学習	カリキュラム評価について考える。